

今最も注目すべきトップアーティストたちが浦安に集結!

クラシックの名曲からおなじみの日本歌曲まで一夜で楽しめる珠玉のガラ・コンサート。

「秋に聴きたい美しいメロディー」を三部構成でたっぷりお届けします♪



黒岩航紀(ピアノ) Koki Kuroiwa, Piano

東京藝術大学首席卒業後、同大学大学院修士課程及びリスト音楽院修了。日本音楽コンクール、東京音楽コンクール、KIPA 国際ピアノコンクール第1位。青山音楽新人賞、宇都宮エスペール賞受賞。2nd CD「展覧会の絵」はレコード芸術特選盤に選定。東京藝術大学、甲斐清和高校、CJM神宮の杜音楽院講師。



吉見友貴(ピアノ) Yuki Yoshimi, Piano

2000年生まれ。第86回日本音楽コンクール最年少優勝。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールセミファイナリスト。2022年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールクォーターファイナリスト。現在、ニューイングランド音楽院に在学中。アレクサンダー・コルサンティア、上野久子、伊藤麻の各氏に師事。



周防亮介(ヴァイオリン) Ryosuke Suho, Violin

2016年ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール入賞及び審査員特別賞を受賞。2015年出光音楽賞を受賞。現在は江副記念リクルート財団奨学生としてメニュール国際音楽アカデミーにて研鑽を積む。使用楽器はNPO法人イエローエンジェルより貸与されている、1678年製ニコロ・アマティ。



寺下真理子(ヴァイオリン) Mariko Terashita, Violin

東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学音楽学部卒業。第2回東京音楽コンクール弦楽器部門第2位。東京フィル、大阪フィル、関西フィル、仙台フィル、日本センチュリー交響楽団、九州交響楽団等と共演。現在、Nippon violin よりストラディヴァリウスを貸与されている。2023年、ソニーミュージックレーベルズより「Dolce storia」をリリース。



中 恵菜(ヴィオラ) Meguna Naka, Viola

第65回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位に入賞、2019年YCA国際オーディション優勝、その他多数優勝。第22回ホテルオークラ音楽賞受賞。Quartet Amabileヴィオラ奏者。CHANEL Pygmalion Days室内楽アーティスト。Music Dialogueアーティスト。新日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ首席奏者。使用楽器は宗次コレクションより特別に貸与されたMontagnana。



伊藤悠貴(チェロ) Yuki Ito, Cello

15歳で渡英。王立音楽大学在学中、ブラームス国際コンクール、ウインザー祝祭国際弦楽コンクールに優勝し、名門フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビュー。これまでに国内外の主要オーケストラと共演を重ね、世界各地でのリサイタルを通して生涯の研究対象であるラフマニノフ作品、イギリス音楽作品の普及に献身。2019年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。



高山智仁(コントラバス) Tomohito Takayama, Contrabass

1998年武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科卒業と同時に日本フィルハーモニー交響楽団に入団。現在首席コントラバス奏者。アフィニス文化財団海外研修員に選ばれチェコに留学。2010年より武蔵野音楽大学講師として後進の指導にあたり現在に至る。コントラバスを檜山薫、ツォルト・ティハイ、イルジー・フデツツに師事。



緑川まり(ソプラノ) Mari Midorikawa, Soprano

桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。第5回日仏声楽コンクール奨励賞受賞。1991年ヴェルディ国際声楽コンクール入賞。2000年ドイツ・バーデン州立歌劇場公演「トスカ」で海外デビュー、2006年ヘンツェ「午後10時の現航」で、ザルツブルク、ベルリン、トリノ9音楽祭出演。第24回シロ・オペラ賞、第1回ホタル・オーケラ音楽賞受賞。東京音楽大学准教授。



西村 悟(テノール) Satoshi Nishimura, Tenor

日本大学芸術学部、東京藝術大学大学院修了。リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクール第2位及び審査委員長特別賞、日本音楽コンクール第1位。国内外の著名な指揮者、オーケストラと共演し、2016年に大野和士指揮バルセロナ響とメンデルズゾーン「讃歌」で欧州デビュー。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。出光音楽賞受賞。千葉県出身。



中嶋俊晴(カウンターテナー) Toshiharu Nakajima, Counter Tenor

東京藝術大学大学院修了。ウィーン国立音楽大学大学院リート・オラトリオ専修、アムステルダム音楽院修士課程バロック声楽専攻を満場一致の最優秀にて修了。バロックから現代まで幅広い分野で活躍中。文化庁芸術祭賞新人賞、五島記念文化賞オペラ新人賞等多数受賞。RMF奨学生、文化庁新進芸術家海外研修員として欧州各地で研鑽を積んだ。



松本和将(ピアノ) Kazumasa Matsumoto, Piano

幼い頃よりピアノに目覚め、国内外のコンクールにて数多くの受賞歴を持つ。ソロ、協奏曲、室内楽などあらゆる編成において、観客はもちろん世界中の演奏家達からも注目を集めている。これまでに22枚のCDをリリース。演奏活動と平行し「愛知カンマーム・ジークアカデミー」を設立し室内楽の普及と演奏家の育成に努める。



石原悠念(ヴァイオリン) Yuki Ishihara, Violin

第9回スウェーデン国際デュオ・コンクール第1位。第2回ベートーヴェン国際室内楽コンクール特別賞。第36回霧島国際音楽祭にて2つの音楽祭賞と音楽監督賞を受賞。2019-21年バイエルン放送交響楽団オーケストラ・アカデミー在籍。ベルリン芸術大学学士・修士課程を共に最高成績で修了。現在、同大学指揮科に在籍。



高松亜衣(ヴァイオリン) Ai Takamatsu, Violin

3歳よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール名古屋大会第1位、全国大会第3位、ブルクハルト国際音楽コンクール第1位等数々のコンクールで入賞。東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。4枚のCDをリリースし全国ツアーも積極的に行う。東京藝術大学器楽科を卒業。SNS総フォロワー数は40万人を超える。



長島 萌(ヴァイオリン) Moe Nagashima, Violin

東京藝術大学を経てドレスデン音楽大学修士課程修了、同マイスター(国家演奏家資格)クラス卒業。2016年シモン・ゴールドベルク国際コンクール第1位及び聴衆賞、ケーニヒン・ゾフィア・シャルロッテ国際コンクール第3位及びヴィルトゥオーゾ賞、その他国際コンクールで受賞。現在、ミュンヘン・シンフォニカー団員。日独両国で活動。



長谷川弥生(ヴィオラ) Yayoi Hasegawa, Viola

桐朋学園大学卒業後、タンクウッド音楽祭に参加。同大学研究科に進み、最優秀の成績でキジアーナ音楽院のセミナーへ派遣され、ユーリ・パシュメットのクラスでディプロマ特別賞、R.プレングラの室内楽クラスでディプロマ名誉賞を得る。ソロや室内楽、オーケストラで広く活躍。CDに「彩・現代日本のヴィオラ音楽・選」「心地よいロンド」がある。



笹沼 樹(チェロ) Tatsuki Sasanuma, Cello

いま最も大きな期待を集めている若手チェリストの一人。2022年第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。ARDミュンヘン国際コンクール、NYのYoung Concert Artists International Audition、日本音楽コンクールなどに優勝・入賞。桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了、並びに学習院大学文学部卒業。パリエール・ノルマル音楽院在籍。使用楽器は1771年製 C.F.Landolfi(宗次コレクション)。



岡本拓也(ギター) Takuya Okamoto, Guitar

ウィーン国立音楽大学修士課程を満場一致の最優秀成績で修了。ドイツ・アルトハイム国際ギターコンクール1位をはじめ国内外のコンクールにて優勝を重ねる。CD「7つの指輪」(2019)、「One」(2021)は共に「レコード芸術」特選盤となる。2010年度ヤマハ音楽支援制度奨学生、第9回千葉市芸術文化新人賞受賞。浦安市出身。



坂本 朱(メゾソプラノ) Akemi Sakamoto, Mezzo Soprano

東京藝術大学、同大学院オペラ科修士課程を経て、ミラノのヴェルディ国立音楽院に学ぶ。トーティ・ダグ・モンテ及びベッリーニ国際音楽コンクールで優勝。オペラ出演は数多く「カルメン」「ナブッコ」「運命の力」「トロヴァトーレ」「建・TAKERU」「黒船」等、豊かな表現力で高く評価されている。また国際的な指揮者やオーケストラとも数多く共演。



久保田真澄(バス) Masumi Kubota, Bass

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。第26回江副記念財団リクルートスカラシップ生。1994年、第5回五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し、同財団奨学生として渡伊。数々のコンクールで入選するなど注目を浴び、藤原歌劇団、新国立劇場をはじめ多数の作品で活躍。藤原歌劇団団員。国立音楽大学、同大学大学院教授。千葉県出身。



矢部華恵(司会) Hanae Yabe, MC

アメリカ生まれ、東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。6歳から日本に住み、エッセイストとして活動。これまでに「世界ふしぎ発見!」(TBS)のミステリーハンターとして出演するほか、TV番組やCMのナレーション、ラジオパーソナリティを担当。またコンサートでの司会や朗読としての出演など、活動は多岐にわたる。

難しい、だから面白い! 奥深い本物のクラシックを“良いとこ取り”のガラ・コンサートで

「クラシック・キャラバン」はコロナ禍を乗り越えるため2021年に発足したプロジェクトで、今回3年目を迎えます。日本クラシック音楽事業協会加盟社が総力を結集し、通常の公演では実施し得ない最上級の出演者と、バラエティに富んだ内容、そして十分な聞き応えのあるオリジナルコンサートで、全国27都道府県で開催します。今回は日本を代表する音楽家を企画アドバイザーに起用しさらに芸術性を充実させる等、よりパワーアップした内容になりました。どうぞ心ゆくまでお楽しみください。

全国各地の開催情報はQRコードからご覧ください。▶

